

八百津町・御嵩町合同防災関係等会議

を開催しました

4月15日、御嵩町役場において八百津町・御嵩町合同防災関係等会議が開催されました。この会議は、新丸山ダム工事事務所と八百津町及び御嵩町との間で取り交わされた「災害時の連絡体制等に係る申し合わせ事項」に基づき、災害関係の連絡窓口の確認や防災情報の共有・交換を行い、緊密な連絡体制の維持に努めるものです。



左から赤塚町長（八百津町）
渡辺町長（御嵩町）
石原所長（新丸山ダム）

八百津町及び御嵩町からは、昨年7月15日豪雨の災害復旧状況や、今年3月11日に発生した東日本大震災の支援状況の報告をいただきました。

また、新丸山ダム工事事務所からは、中部地方整備局の東北支援（ポンプ車や衛星通信車等の派遣等）を紹介するとともに、緊急災害派遣隊（TEC-FORCE）の隊員として阿武隈川（宮城県）の河川管理施設点検を行った事務所職員からの報告も行いました。

「災害時の連絡体制等に係る申し合わせ事項」

1. ホットラインの設置
町長・副町長（参事）と事務所長・副所長の間設置します。
2. 災害支援要請等
支援要請等の連絡調整窓口を定めます。
3. リエゾン(連絡要員)の派遣
被害状況や支援ニーズ把握のため、リエゾン(連絡要員)を派遣します。
4. 平常時の情報共有・交換
4月と11月に防災会議を開催し、災害情報の共有・交換に努めます。